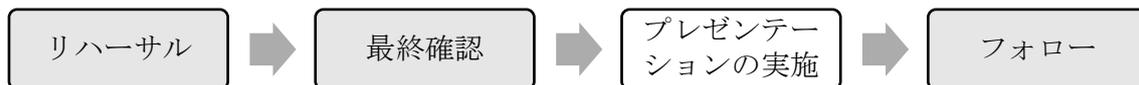


スマートなプレゼンテーションで伝えよう (PowerPoint 編)

今回は、PowerPoint を利用するときのスマートなプレゼンテーション方法を理事であり Microsoft Certified TRAINER の豊田がお伝えします。



聴衆の心に届くプレゼンテーションを実行するには、話し方、声の出し方、立ち振る舞いをはじめいくつか大切な要素がありますが、パソコンの操作も重要なポイントです。

しかし、プレゼンテーションを行うときに、ソフトウェアをたちあげて、ファイルを開いて、スライドショーのボタンはどこだっけ?・・・などという操作をしていませんか?

プレゼンテーション実施の場面では、「裏方は見せないように」します。「あ～PowerPoint で作っているんだ。へ～こんなファイル管理をしているんだ。ふむふむ、ドキュメントにあるあのフォルダは取引先の会社名だな。ほ～このひとは、ここからスライドショーを実行するんだ～」などと、聴衆は本来の目的以外のものに気を取られてしまいます。

聴衆の気持ちを集中させてあなたのプレゼンテーションをスッキリと届けるために、プレゼンターのパソコン操作は大切な要素の一つです。

聴衆の心に届く極意を5つお伝えします。

1、ファイルは「PowerPoint スライドショー形式」で保存する

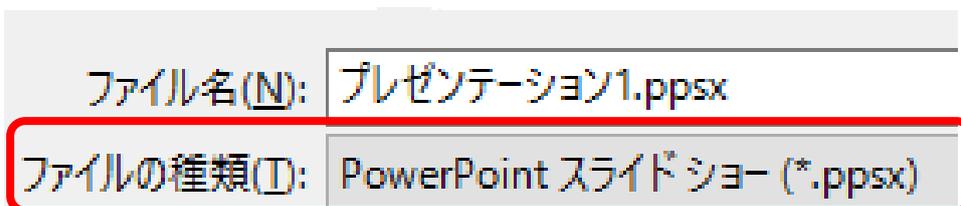
ファイルは、「PowerPoint スライドショー形式」で保存します。

スライドショー形式とは、アイコンをダブルクリックしてファイルを開くと、自動的にスライドショーが実行される形式です。終了すると、PowerPoint も同時に終了となります。バージョンにより多少文言が異なりますが、「スライドショー」という文言がついています。

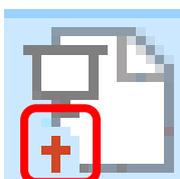
(スライドショー形式にする方法)

「名前をつけて保存」のダイアログボックスで、「ファイルの種類」を「PowerPoint スライドショー」に変更して、保存をします。

(バージョン 2013 の例)



スライドショー形式で保存したファイルのアイコンには「矢印」がつきます。



2、デスクトップには、ショートカットキーをおく

デスクトップに沢山のファイルを直接保存していませんか？デスクトップというのは、作業をする机の上というイメージです。デスクトップにファイルを直接保存することは、机の上に書類を置きっぱなしにしているのと同じで、“仕事ができない人”と思われるそうです。また、技術的にはパソコンのメモリを圧迫します。ファイルは、所定の場所にフォルダを作成して保存するようにしましょう。整理整頓はセキュリティ対策の第一歩です。

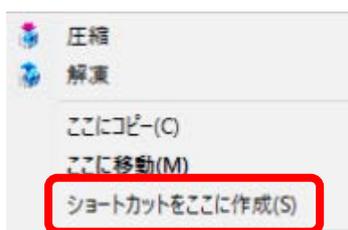
デスクトップには、ショートカットを配置します。ショートカットとは“近道”という意味です。

(ショートカットの作り方)

目的のファイルをデスクトップ上に「右ドラッグ」します。マウスのボタンを離すと以下のようなメニューが出ます。

「ショートカットをここに作成」をクリックします。

(Windows10 の例)



3. デスクトップの壁紙に気を配る

壁紙にも気を配りましょう。プレゼンテーションの目的に関係ない、子供やペットの写真、あるいはメーカーの名前がはいっている壁紙では、せっかくのプレゼンテーションが台無しになってしまいます。たとえば、新商品の紹介をするプレゼンテーションであれば、商品の写真を壁紙にする、あるいはコーポレートカラーにする、会社名とロゴを記載した壁紙にするなど、壁紙にも注意を払いましょう。プレゼンテーションは、「世界観」が大切です。

(壁紙を変更する方法)

壁紙の上で、マウスを右クリックします。以下は Windows10 の例です。



4. スライドショーはスマートな操作で行う

スライドショーの最中に聴衆から質問を受けました。その説明には、いくつか前のスライドを表示する必要があります。さて、あなたはどのような方法を取っていますか？右クリックして「前へ」、バックスペースキーを何回も押して逆戻り？

スライドの表示をスムーズにするだけで聴衆にスッキリと伝えることができます。

便利なショートカットキーを紹介します。

キー操作	動き
Enter キー	次に
BackSpace キー	前に
番号を入力し Enter キー	その番号のスライドにジャンプ
w	ホワイトアウト
b	ブラックアウト
Ctrl キー + p	マウスポインタがペンの形に変わり画面に描画できる
Ctrl キー + a	マウスポインタがもとの矢印形に戻る
Esc	スライドショーの中断

5、フィードバックを大切にす

「真実を受け取れない人は消滅する」といわれます。健康診断の結果でさえ封を開けて確認するのはドキドキします。ましてや自分が行った結果に対するフィードバックやアンケートの結果には耳が痛いものもあります。

しかし、正直なフィードバックはあなたのことを愛しているからこそ、相手からの大切なプレゼントです。言いにくいことをあなたの成長のために、あえて指摘してくれているのです。たとえば、お好み焼きを食べたあと歯に青のりがついていることを伝えるのでさえどう切り出すか悩みます。フィードバックをくれる人もどう伝えればよいか心を砕いて伝えてくれています。

フィードバックはありがたく受け取り、そして感謝を伝えましょう。

私は、話力の師匠から「人生で大切なのは何人フィードバックをくれる人を持っているか」と教えてもらいました。

フィードバックはさらなる成功にむけての糧にしましょう。

さて、今回の内容はいかがでしたでしょうか？

少しでもみなさまのプレゼンテーション成功のお役に立てれば幸いです。

そして、みなさまからのフィードバックをお待ちしております。

すべてがフィードバックです。こんなことを知りたいでも結構です。ご意見・ご要望をお待ちしています。(NPO 法人プレゼンテーション協会理事 豊田倫枝)